



# 学校だより

川越市立山田中学校

令和4年10月7日 発行

## 学校教育目標『人を尊び 本気で学び たくましく』

～ふるさと川越山田に自信と誇りを持てる生徒の育成～

### 仲間とともに

校長 守岡 信一

9月22日から新人大会市予選会が行われ、各会場で山中生が活躍しました。私も各会場をまわり、感染症対策のため声を出すことはできませんでしたが、拍手などで応援しました。それぞれの部がこれまでの努力の成果を発揮しようと全力で戦っていました。最後まで諦めない姿、仲間とともに「本気で」取り組む姿に感動しました。

新チームになっておよそ4か月ですが、2年生がよく部活動を引っ張り、1年生も心身がたくましく成長しています。多くの成果があった大会となりましたが、3年生が部活動引退までの間に示してくれたことが伝統となり、1、2年生の中で生きていると感じています。また、当日は多くの保護者の方々にもご協力ご声援いただき、本当にありがとうございました。山田中学校の生徒一人一人が、これからますます輝くことを心から願っています。

「打って反省、打たれて感謝」この言葉は私が訪れた剣道の会場で、ある先生がお話をされていたものです。私は剣道の経験が無く、この言葉がとても不思議に思ったので剣道について少し調べてみました。剣道のいわゆる一本は「有効打突」というのだそうです。皆さんも見たことがあると思いますが、竹刀（しな）を相手の面、小手、胴に正確に当てなければなりません。そして武士道精神、つまり試合や稽古を通し心身の鍛錬をすることで、人としてよりよく成長することを目的としているところが他のスポーツと少し違うところかもしれません。そのため、一本を取るには単に竹刀で相手の面や胴を打っただけではだめで、そこに“残心”があるかないかが求められるという非常に奥の深いスポーツです。（残心については自分で調べてみてください）この「打って反省、打たれて感謝」とは、生徒のみなさんほどのように考えますか。いつでもよいので私に自分の考えをぜひ聞かせてください。

さて、卓球部男女が市予選を勝ち抜き、今月末からの県大会に出場します。より上の大会を経験することは、貴重な学びの場となります。ぜひ頑張ってもらいたいと思います。また、どの部にも新人大会市予選をとおして、明確になった課題があるはずです。「本気で」熱い思いをもって、これからの日々の練習に励んでほしいと思います。

現在、22日の駅伝大会市予選に向け、部活動終了後、候補者が校庭で汗を流しており、とても立派な練習態度です。さらに、28日には校内合唱祭が行われます。感染症防止対策下ですが、校内に歌声が戻ってきました。努力の成果を発揮し、仲間とともに、きつと心に残る発表をしてくれるものと今からとても楽しみにしています。